

特定非営利活動法人 グリーンフサポート・リヴの活動

代表理事 佐藤まどか

グリーンサポート・リヴの活動①

1992年11月・女性と子どもの支援を柱に活動を開始。

- * 孤立している母子の支援・子育ての悩みや不登校・発達の支援など。
- * 家族間（母娘や夫婦関係・親子関係）などの悩みや離婚についての支援・シングルマザーの会
- * 自死族支援（2001年～）

様々な語りの会 ・親を自死で亡くした（現在18歳以上の大人）方の語りの会

・子どもを自死で亡くした方の語りの会

・パートナーを自死で亡くした女性の語りの会

・きょうだいを自死で亡くした方の語りの会

@グループに入る前に個別の面談を行ってからグループへの参加、またグループへの参加後も個別のケアを行う。

グリーフサポート・リヴの活動②

子ども含め遺族の個別面談・家族（複数）面談

遺族だけではなく身近な人の自死や知り合いの自死についての面談

学校関係者や子どもに関わる人たちの相談も受け付けている

@女性のための無料電話相談やオープンスペースの利用

* 10代から20代前半の若者の語る場を若者遺族とともに開催

学校関係者や子どもや若者を取り巻く環境をどう整えていくのかを話し合いや研修をしながら

模索している。（支援する人の語りの場として）

SSW（スクールソーシャルワーカー）としての活動①

学校で子どもに起こっている問題をその子どもの問題として捉えるのではなく
環境と絡み合っている問題であると捉える

その子どもを取り巻く学校環境はどうか？（先生や友人との関係・いじめは？授業は？クラブは？）家庭環境は？（家の様子は？家族は？ヤングケアラーではない？食事は？暴力はない？何を見ている？関心を持ってもらっている？死別や離別は？）本人の性格や発達の課題は？（学習は？生き辛さはないか？特性でしんどくないか？）
今起こっている問題はいつからどこから来ているのだろうか？

今、この子は安全ですか？

SSW（スクールソーシャルワーカー）としての活動②

事実の積み重ねを行い、問題と見られることがどこに原因があるのかケース会議を行い
アセスメントしアプローチしていく

様々な偏見、とりわけ精神的な疾患は誰にでも起こり得ることでおかしなことではないという

理解が自身の悩みをダメなことと捉えないことにも

子どもの最善の利益のために子どもたちの本当の思いのために

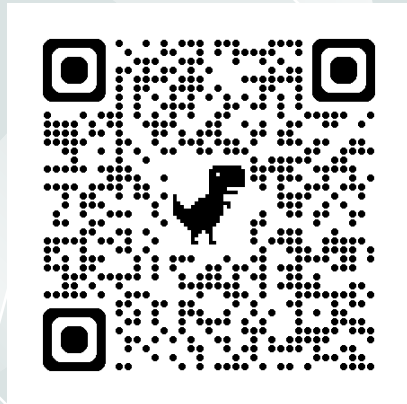
解決方法を一緒に考えていく仕事・福祉的なアプローチ

リヴの活動もSSWの活動も個人の気持ちに寄り添って・・・

ありがとうございます

NPO法人グリーンフサポート・リヴ

Web サイト



お問い合わせ・受付LINE

